

日本製鉄 OB 会 第 22 回写真展 記録

2024 年(令和 6 年)

期間 : 7 月 2 日(火)~8 日(月)

時間 : 7 月 2 日 13 時~16 時

7 月 3 日 11 時~16 時

但し 13:30~15:00 の間は
太極拳グループ活動のため入場休止

7 月 4 日~8 日 11 時~16 時

場所 : 代々木倶楽部(B1)多目的室

出展参加者 : 17 名

出展作品数 : 33 点

来場者延数 : 121 名

第 22 回 写真展

会期 : 2024 年(令和 6 年)

7 月 2 日(火)~8 日(月)

時間 : 11 時~16 時

(初日 7 月 2 日のみ 13 時~16 時)

会場 : 代々木倶楽部 B1・多目的室

日本製鉄OB会

写真:「すごい大物を捕ったぞ!!!」(カワセミ)
於 四季の森公園 / 服部正幸氏作品

写真展ポスター : 服部正幸氏の第 21 回展示作品

“すごい大物を捕ったぞ!! (カワセミ 四季の森公園)” の写真を採用

会場設営作業

展示会場設営・作品セット作業中のひとコマ (7 月 2 日)

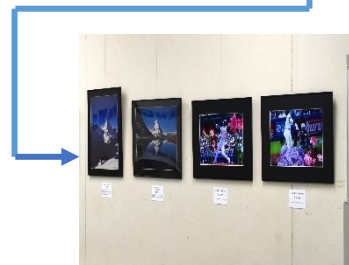


設営完了の会場

7 月 2 日写真展会場 (B1 多目的室) にて作品展示セット完了



戸田氏の趣味で製作した小鳥用巣箱を展示披露



第 22 回写真展作品一覧

(表の記載順は時計回りに作品展示順)

氏 名	題	サイズ	コメント	種類
井上金光	夕陽に輝く富士山の笠雲	A4	富士山の見えるいつもの場所でふと見上げると夕陽に光り輝く富士山の姿が！素晴らしい景色に感動し、シャッターを押しました	デジタル
丸山博司	冬の伊豆大島の日之出	A3	日の出の光線と海への反射が綺麗だった。	デジタル
	伊豆黒根岬の磯釣り	A3	2～3km 離れた丘の上から、鮮明に撮れてびっくり！	デジタル
戸田勝隆	四十雀の巣作り	4 枚組	A-1 巣作りの開始(つがいでは何回かの下見をして巣を決める) A-2 巣の中に敷く材料の運び込み(枯草やコケ類が多い) A-3 同 (卵やヒナの保温のため動物の毛も拾ってくる) A-4 碑なの巣立ち(初めて巣箱の外を眺める)	デジタル
	雛の巣立ち	4 枚組	B-1 親鳥が餌をちらつかせてヒナの巣立ちを促す B-2 最初のヒナが出ると次々と出て来る(最初は止まり木にとまる) B-3, 4 巣の近くの茂みや木にとまる(まだ遠くまで飛べないのいる)	デジタル
伊藤亀太郎	写真俳句「異人にも 鶯の声 円覚寺」 "Bush warbler signal the spring to the foreign pair too Engaku-ji"	A3	私の娘(有馬かおる)のパイプオルガンのお師匠さんの知人 Philip Sawyer さん(エディンバラ音楽学校校長)と Ann 夫人 来日時、鎌倉をご案内、円覚寺にて撮影。(2010 年 5 月 7 日)	デジタル
	写真俳句 「菜の花と 桜の後に 待つ椿」	A3	満開の菜の花、桜二つ続いて新緑が芽生える櫻の季節の変化 撮影:2010 年 4 月 10 日神代植物公園	デジタル
内山雄二	南フランス巡礼街道歩きの思い出①	A3	路傍の木に書かれたマークが道しるべ	デジタル
	南フランス巡礼街道歩きの思い出②	A3	石造りの中世の街に迷い込んだみたい	デジタル
久保田貞雄	真ん中を通るは中央線	A3	神田川東中野周辺の桜の名所	デジタル
	立てばシャクヤク、座れば牡丹・・・	A3	地元杉並区今川「観泉寺」牡丹園	デジタル
濱本康男	チェスキー・クルムロフ夜景	A3/ビ	世界で一番美しい街と言われていますが・・・?	デジタル
	ローズガーデン	A3/ビ	庭のミニガーデンの一つです	デジタル
中川勝敬	廊下の先は新緑	A3	京都・智積院	デジタル
	ほのかに香る白梅	A3	新宿・甘泉園	デジタル
村岡義章	夏...涼を求めて(1)「オシコシンの滝」	A3	知床の落差 80m・幅 30mの大滝(2002 年夏)	デジタル
	夏...涼を求めて(2)「番所大滝」	A3	乗鞍高原の3名滝の一つ、落差 40m、幅 15mの大滝(2007 年)	デジタル
青島 衛	「咲き誇る」	半切	小金井市の金蔵院の枝垂れ桜 晴天と満開の両立する日を狙い通う事 10 年	デジタル
	「メルヘンチック・ガーデン」	半切	昭和記念公園のチューリップ庭園 生垣の隙間にカメラを突っ込みボケ味を出す	デジタル
石川輔宏	櫻景「純和風」	A3	牛久シャトー(茨城県)観桜フェスティバル 清楚の中に力強さを感じさせるシャトー庭園にて	デジタル
	櫻景「和洋折衷」	A3	牛久シャトー(茨城県)観桜フェスティバル 赤煉瓦の建物は 1903(明治 36 年)開設した日本初の本格的 ワイン醸造場	デジタル
吉田俊彦	The Jacobite 45407	A3/ビ	West Highland Railway(Scotland)の現役蒸気機関車 1937 年製	デジタル
	古城	A3/ビ	Eilean Donan Castle 13 世紀初頭ヴァイキングに備えて築城 映画"The World is not Enough"や"Highlander"の舞台に	デジタル
服部正幸	柱状節理と水の風景(1)	A3/ビ	宮城県 高千穂峡 一阿蘇山の溶岩流一	デジタル
	柱状節理と水の風景(2)	A3/ビ	静岡県 城ヶ崎海岸 一伊豆 大室山の溶岩流一	デジタル
中澤 吉	牡鹿の縄張り争い	A3/ビ	遊覧飛行後のバスツアーで撮影。30 分でも勝負無し	デジタル
	アラスカの氷河	A3/ビ	アラスカ氷河クルーズ船で撮影。南極氷河と同等	デジタル
渡邊和彦	水面に映える満開のチューリップ	A3/ビ	チューリップが咲き誇り、いちばん華やかな季節を迎えます	デジタル
	山一面を躑躅で彩る	A3/ビ	躑躅園を埋め尽くす色とりどりの躑躅	デジタル
椿原 治	厳冬・新雪のmatterホルン	全紙	ツエルマットからゴンドラでロートホルン(3,101m)まで登り、深い新雪の急斜面を横滑りしながら撮影ポイントを探すと、小動物の足跡が点々と、カシャ、至福の時を満喫して、斜滑降で滑って行くと上方から幅約 40mのピステン(道)と合流、刻一刻と大きさが増すmatterホルンを横目に見ながら、ツエルマットに滑り込む(高度差 1500m、全長約8km)	フィルム
	逆さmatterホルン(4,478m)	全紙	スイスツエルマットからゴルナーグラート鉄道に乗りローテンボーデン駅(2,815m)から少し下るとリッフル湖がある。好天、無風、新雪の薄化粧にも恵まれ、シャッターを切った	フィルム
岡田明久	大谷選手の快挙 その 1	A3/ビ	4 月 22 日日本人最多ホームラン(176 号)を達成	デジタル
	大谷選手の快挙 その 2	A3/ビ	LA市が「翔平の日」を制定した 5 月 17 日にホームラン	デジタル

自己作品の紹介説明

青島氏の司会進行により各出展者による自己作品の説明紹介を行なった。



井上金光



丸山博司 (欠席により青島氏代行)



戸田勝隆



伊藤亀太郎 (欠席により青島氏代行)



内山雄二



久保田貞雄



中川勝敬



村岡義章



青島 衛



石川輔宏



吉田俊彦



服部正幸



中澤 吉



渡邊和彦



椿原 治

(岡田氏の作品は
当日間に合わず
紹介できません
でした)

(岡田明久)

出展者記念撮影

会場設営に参加された方の記念撮影



星野	吉田	内山	戸田	青島	椿原	中川	井上
松石	村岡	石川	服部	中澤	渡邊	久保田	

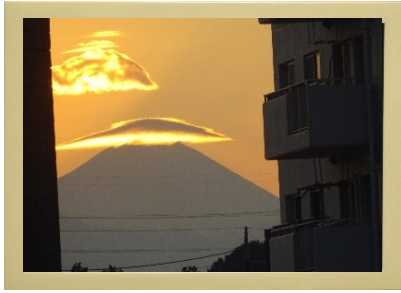
(敬称略)

(註) 岡田氏、伊藤氏、丸山氏、瀧本氏のご都合により欠席



出展作品

【註】 展示会場入口左手から時計回りに展示順に全 33 作品を紹介します。



井上金光／夕陽に輝く富士山の笠雲



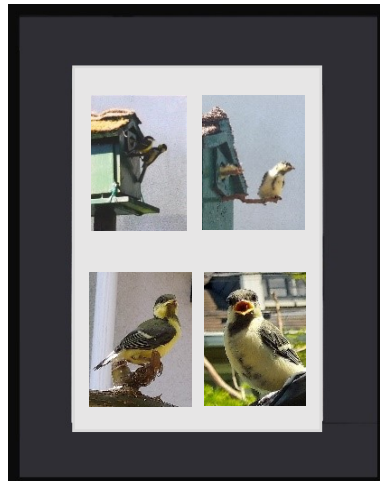
丸山博司／冬の伊豆大島の日出



丸山博司／伊豆黒根岬の磯釣り



戸田勝隆／四十雀の巣作り



戸田勝隆／雛の巣立ち



(戸田氏の趣味で手作の各種巣箱実物を展示)

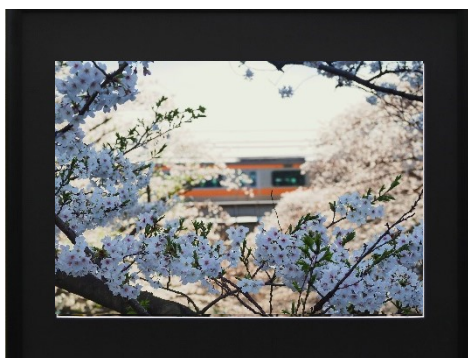


伊藤亀太郎／写真俳句

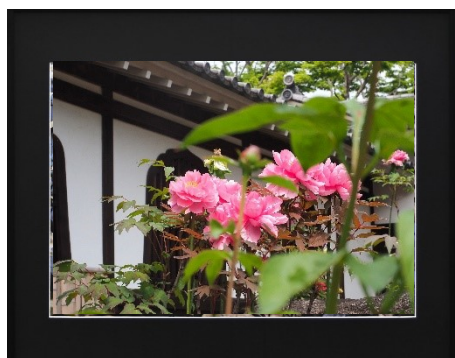
(左)「異人にも 鶯の声 円覚寺」
(上)「菜の花と 櫻の後に 待つ櫓」



内山雄二／南フランス巡礼街道歩きの思い出①



久保田貞雄／真ん中を通るは中央線



久保田貞雄／立てばシャクヤク、座れば牡丹・・・



内山雄二／南フランス巡礼街道歩きの思い出②



濱本康男／チェスキークルムロフ夜景



中川勝敬／廊下の先は新緑



中川勝敬／ほのかに香る白梅



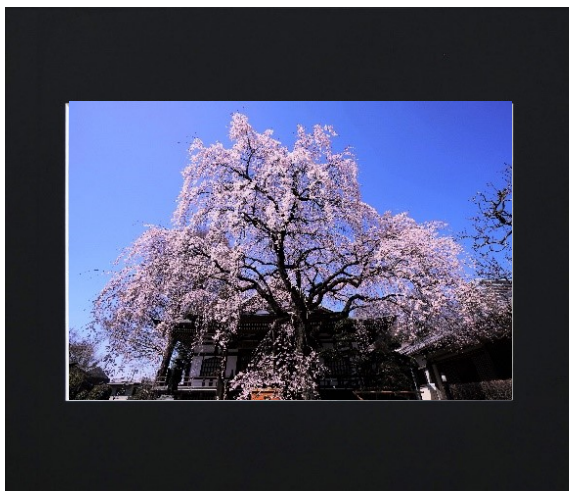
濱本康男／ローズガーデン



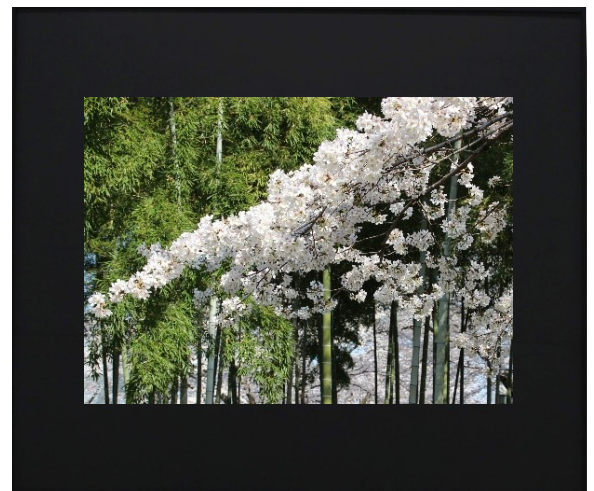
村岡義章／夏…涼を求めて (1)
「オシンコシンの滝」



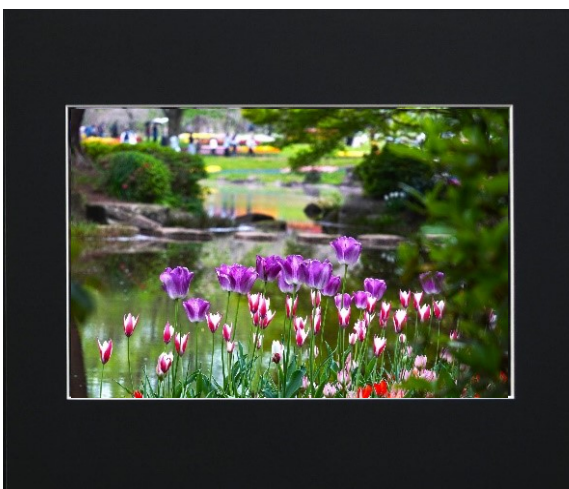
村岡義章／夏…涼を求めて(2)
「番所大滝」



青島 衛／「咲き誇る」



石川輔宏／櫻景「純和風」



青島 衛／「メルヘンチック・ガーデン」



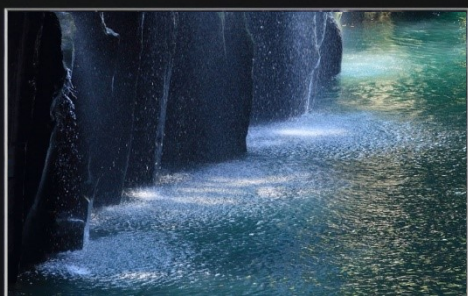
石川輔宏／櫻景「和洋折衷」



吉田俊彦／The Jacobite 45407



吉田俊彦／古城（Eilean Donan Castle）



服部正幸／柱状節理と水の風景（１）宮城県高千穂峡



服部正幸／柱状節理と水の風景（２）静岡県城ヶ崎海岸



中澤 吉／牡鹿の縄張り争い



中澤 吉／アラスカの氷河



渡邊和彦／水面に映える満開のチューリップ



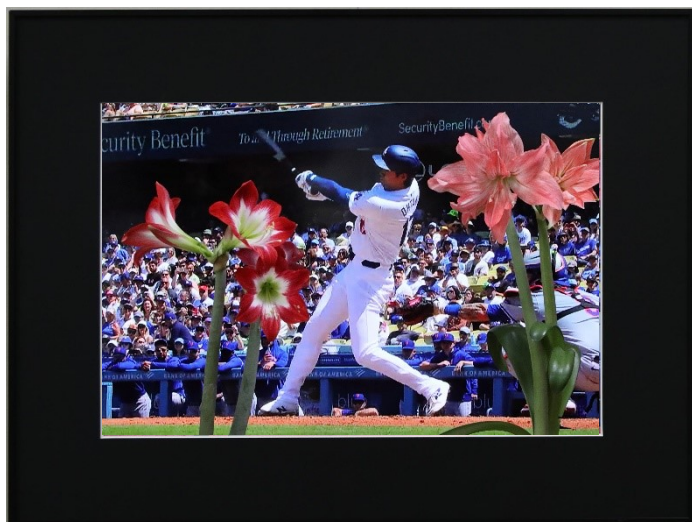
渡邊和彦／山一面を躑躅で彩る



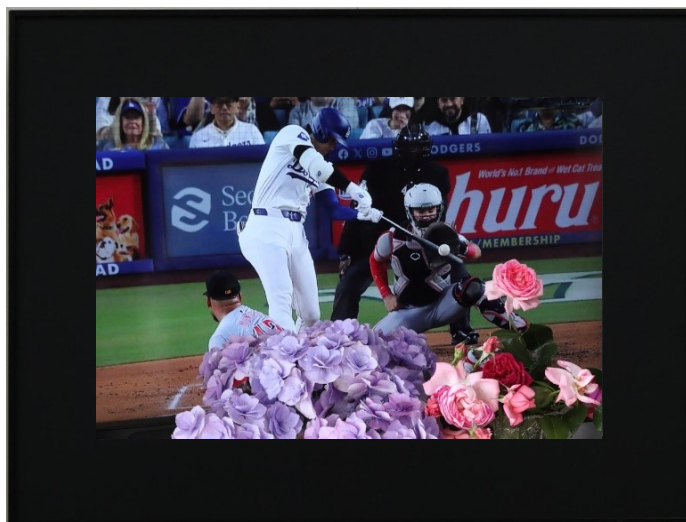
椿原 治／厳冬・新雪のmatterホルン



椿原 治／逆さmatterホルン (4,478m)



岡田明久／大谷選手の快挙—その1 (4月22日)



岡田明久／大谷選手の快挙—その2 (5月17日)

来場者スナップ写真



7月3日 三村代表ご来場



7月3日 三村代表と案内応対者一同記念撮影

(次ページへ続く)



7月3日来客で賑わう



7月3日



7月3日



7月3日 13:30~15:00 OB 会太極拳同好会のため会場一時閉鎖



7月4日



7月4日



7月4日



7月5日



7月5日



打上会開催に当たり星野事務局長よりご挨拶
併せて永年出展参加された瀬戸島道子氏の逝去に黙祷を捧げた。

その後、出席した出展者全員の感想等所見を披露し、お互いの健闘を称え打上会を終了したが、その前に青島氏より「岡田氏の作品（「大谷選手の快挙」）は如何にして作られたか？」という疑問に対して分析した結果の答えを披露されたので、その内容をここに記す。
考えられる手段としては下記の方法であるが、正解は何れか？

- ① プライベートで現地へ行った
- ② TV 撮影と花撮影と合成
- ③ 花を前に置き TV と一緒に撮影
- ④ MLB のパンフレットと花を同時に撮影
- ⑤ VTR で録画し花と同時に撮影

→正解は⑤である。……………ということでした。



<出展者の感想等所見スピーチ>（出席者 15 名の各スピーチ内容は省略）



石川



伊藤



戸田



井上



村岡



久保田



中川



内山



椿原



渡邊



中澤



服部



吉田



丸山



青島

【参考データ】OB会写真展開催実績記録

	開催年月日	出展参加者数	出展総数
第1回	2010.09.09~17.	16名	44点
第2回	2011.06.14~21.	19名	51点
第3回	2011.12.06~13.	23名	59点
第4回	2012.07.03~10.	23名	58点
第5回	2012.12.04~11.	26名	67点
第6回	2013.07.02~08.	28名	40点
第7回	2013.12.03~09.	25名	46点
第8回	2014.07.08~14.	24名	48点
第9回	2014.12.09~15.	25名	47点
第10回	2015.07.07~13.	24名	47点
第11回	2015.12.08~14.	23名	44点
第12回	2016.07.05~11.	22名	43点
第13回	2016.12.06~12.	25名	48点
第14回	2017.07.04~10.	24名	48点
第15回	2017.12.05~11.	21名	42点
第16回	2018.07.03~09.	20名	39点
第17回	2018.12.04~10.	20名	39点
第18回	2019.07.02~08.	22名	42点
第19回	2019.12.03~09.	20名	40点
第20回	2023.07.04~10.	16名	28点
第21回	2023.12.05~11.	16名	32点
第22回	2024.07.02~08.	17名	33点

<後記>

本 OB 会写真展は上記の実績表に示されている通り、2010 年 9 月第 1 回を皮切りに毎年 2 回開催を継続し、途中コロナ禍の為 2020~2022 年の 3 年間中断を余儀なくされたものの、2023 年から再開し、本年 22 回目の開催を実現できたことを素直に喜びたいと思います。

この写真展の開催推進に初回から尽力されて来られた青島さんの投稿記事が OB 会誌本年 6 月号に掲載されました。それを拝読し、彼の写真展に対する並々ならぬ思いと熱意を感じました。それに共感し推進に協力・支援して来られた先輩・同僚並びに歴代の事務局の方々の努力によって、この会が継続されて来ている…との思いを新たにしました。

さて、今回も素晴らしい作品が多く、百名を超える来客も楽しめたものと思います。特に戸田さんの写真を補完する為に実物の小鳥の巣箱を展示された手法はユニークで注目されました。また、話題になった岡田さんの写真も今迄に無い発想のものでした。写真展の作品という、高度な撮影技術を駆使し、美しさや芸術性のあるものを極めた作品を目指すというイメージがありましたが、もっと自由な発想でよいと思った次第です。今後もこの会が末永く継続し発展することを祈念しております。

なお、本記録作成に当たり井上さんより多くの貴重な写真のご提供を頂きましたことに末筆ながら厚く御礼申し上げます。

(Y.M)